

こんなときはご連絡・ご利用ください

【手話通訳者派遣】

- ・筆談しても伝わっていないようなとき、やり取りが上手くいかないとき
- ・手話通訳を希望しているときなど

【要約筆記者派遣】

- ・手話を知らない聞こえにくい方に、確実に受診内容を伝えたいときなど

【盲ろう者向け通訳・介助員派遣】

- ・目と耳の両方に障害がある人のために、コミュニケーションと移動の支援者を派遣します

茨城県立聴覚障害者福祉センター やすらぎ

〒310-0844 水戸市住吉町349-1
TEL 029-248-0029 FAX 029-247-1369
E-mail: info@center-yasuragi.or.jp
<http://www.center-yasuragi.or.jp>

医療関係者の方へ

～聴覚障害等の 患者さんのために～



茨城県立聴覚障害者福祉センター やすらぎ

〒310-0844 水戸市住吉町349-1
TEL 029-248-0029 FAX 029-247-1369
E-mail: info@center-yasuragi.or.jp
<http://www.center-yasuragi.or.jp>

聴覚障害者等が安心して医療を受けるために

耳や言葉の不自由な人々にとって、病院に行くのはとても不安です。病気やけがに対する不安の他に、話が通じるだろうか、自分の症状を分かってもらえるだろうか、医師や看護師の説明が分かるだろうかという不安があります。

そのため、病院に行きにくく、病気になっても我慢したり、場合によっては手遅れになることもあります。

ほんのちょっとした配慮があれば、聴覚障害者などは安心して医療を受けることができます。それはまた、医師や看護師の方々にとっても、患者の訴えを把握し、的確な医療を行うことができるかどうかにつながる大切なことです。

このパンフレットは、大切な生命に関わる医療において、聴覚障害者等と医療関係者が相互によりよいコミュニケーションをとることができるように、聴覚障害等や対応方法についてのご理解とご協力をお願いするものです。

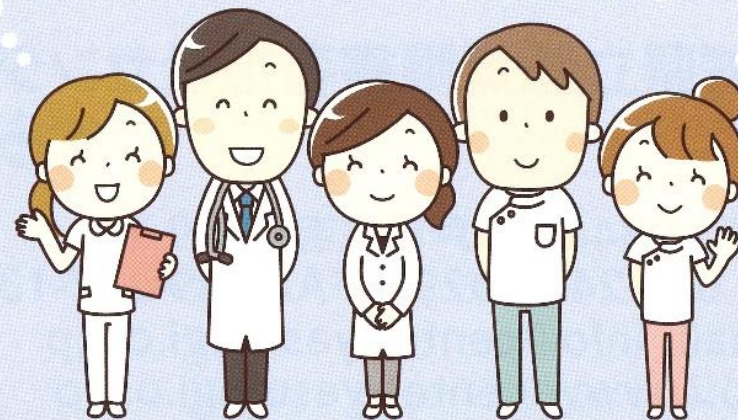
目次

◆ 安心して医療を受けるために	1
◆ 聴覚障害者について	2
◆ コミュニケーションの方法	3
◆ 受付のとき	4
◆ 診察室	5
◆ 検査など	6
◆ こんなときはご連絡・ご利用ください	7

検査など

聞こえない、聞こえにくい場合、レントゲン検査などの呼吸のタイミングは次のような方法で工夫できます。

- 肩をたたく
- 照明の点滅、懐中電灯の点滅
- 書いて示す
- 検査方法を字幕付きビデオで学習



診察室

口の動きを読むため、聴覚障害者に顔を向けてお話しください。横や後ろを向いて話すと分かりません。また、マスクははずしてお話しください。筆談は箇条書きにし、絵や模型を使って説明すると、より分かりやすくなります。

<例>

○否定的な表現は伝わりにくいです

熱はありませんか → 熱はありますか

○具体的、明確な表現のほうが伝わりやすいです

・お小水・お通じ → 尿・便

・来週の〇〇曜日 → 〇月〇日

・大きな病気 → 重い病気

○漢字を見たままに受け取る場合があるので、例をあげて具体的に意味を説明してください

・絶食「朝ご飯を食べないで来てください」

→ 何も飲んだり食べたりしないで来てください



聴覚障害者について

- ① 外見からは分かりにくい障害
- ② 筆談をすればすべて通じると思われがち
- ③ コミュニケーションの方法は個人差がある

聞こえなくなった年齢や育ってきた環境によって、言葉の理解力や情報の取得量、知識の蓄積などに違いがあります。

そのため、医療に関する基本的な知識が得られず、自分の病状に対する認識、医師への訴えが困難な人もいます。

盲ろう者について

- ① 目と耳も不自由な人たちのこと
- ② コミュニケーション方法は、実に様々
- ③ 定義は障害の状態や時期によって異なる
- ④ 大きく分けると4つの状態

	聞こえない	聞こえにくい
見えない	全盲ろう	全盲難聴
見えにくい	弱視ろう	弱視難聴

コミュニケーションの方法

聴覚障害者等のコミュニケーションの方法は、さまざまです。時と場所、内容に応じて、使い分けていることもあります。

1. 手話

コミュニケーション手段が手話の聴覚障害者は、手話が一番安心できる言語です。

日本語の読み書きが苦手な人もいます。できるだけ分かりやすく、簡潔に書くなどの工夫が大切です。

2. 筆談、空書、要約筆記

筆談は文字を書いて伝えるので、確実です。紙がないときは、空間に書いたり（空書）、手のひらに指で書いたりします。要約筆記は手書きやパソコンで、その場の音声を要約して伝えます。

3. 口の動きで理解する（読話）

相手の話を、口の形と動き表情・文脈などから読み取る場合があります。補足として、メモ書きや身振りがあると理解の助けになります。



耳マーク

耳マークは、耳が不自由なことを表すマークです。

このマークを広く知っていただき、ご協力をお願いするものです。

受付のとき

聴覚障害者等が来院したら、筆談などで症状を尋ね、どの診療科にかかればよいか、アドバイスをお願いします。

伝わりにくい例

- 1 何科を受診されますか？
- 2 今日はどうしましたか？

伝わりやすい例

- 1 受診科は何科ですか？
- 2 痛い、どこ、何？



呼び出しのとき

マイクや声は聞こえないため、聴覚障害者は不安な気持ちで待っています。側に行って肩をたたいたり、手招きをするなど、あらかじめ呼ぶ方法を決めておくと安心です。無線振動呼び出しベル「合図くん」などを活用するのも、効果的です。

無線振動呼び出しベル
「合図くん」



耳マーク

